

日本ビジネスコミュニケーション学会 ニュースレター 第17号

学会ホームページ：<http://www.abcj.org/>

事務局長：堀内龍文 連絡先：info@abcj.org

2012年10月31日

目 次

1. 本年度の年次大会のご案内：11月11日（日）京都・同志社大学で開催
2. 「新・社会人応用力」を考えるワークショップ」11月21日（水）夜、拓大で開催
2. 関東支部春期大会のご案内：11月24日（土） 拓大で開催
3. 活動報告：第2回ウェブコミュニケーション部会（9月26日開催）の報告
4. 活動報告：特別講演会「尖閣と竹島問題を考える」（10月26日開催）の報告
5. 学生発表会のご案内：11月10日（土） 拓大で開催
6. 今年度の活動と予定
7. 事務局より

ABCJ 日本ビジネス・コミュニケーション学会

2012年度 年次大会のご案内

11月11日（日）同志社大学で開催

テーマ：「日本再興とコミュニケーション」

時 間：10:30～17:00 / I部・II部（17:30～懇親会）

* I部は同志社大学LCC（同志社校友会大阪支部産官学部会）と協賛

場 所： I部 / 同志社大学今出川キャンパス弘風館31号教室（烏丸今出川）

II部 / さいりん館（京・室町二条、地下鉄丸太町）<http://www.sairinkan.com/>

プログラム：

I部 10:30～12:30 特別プログラム / 講演「八重の桜、裏の梅」

本井康博教授：同志社の歴史、新島襄研究の第一人者

Ⅱ部 13:30～17:00(年次大会)／17:30～(懇親会、約2時間)

13:30～14:00 ABCJ総会

14:10～15:00 基調講演「大使館、外務省の価値」 船越博氏 *元外交官

15:10～17:00 研究発表[各40分]

(1) 「被災地に必要なコミュニケーション力」 勝井まり氏 *通訳ガイド／ミュージシャン

(2) 「無縁共同体を再生しよう」 北出亮氏 *ABCJ 理事長／拓殖大学
— 地縁・血縁・社縁が消滅する社会からの脱却を目指して—

(3) 「橋本徹大阪市長のコミュニケーション術が鈍ってきたか？」

松田雄治氏 *近大姫路大学／(有)トランスティック代表

17:30～約2時間

懇親会 (同 さいりん館)

参加費 @¥4,000 (食事+飲み物)[事前申込要]

会場設備:スクリーン、プロジェクター、ホワイトボード、(*コンピュータ/持込)

参加費:会員/無料、ゲスト/¥1,000円(I部の参加は無料です。)

昼食費/¥500円[事前申込が必要]、懇親会費/¥4,000円

「新・社会 人応用力」を考えるワークショップのご案内

～未来を生きる、君たちへ～ グローバル社会を生き抜くための

「新・社会 人応用力」を考えるワークショップ

11月21日(水)18:30～20:30(開場:18:00) 拓大C館

参加費:会員 1,000円、非会員:2,000円 学部生・院生無料

申込み先:学会事務局までメールでお申込ください。info@abcj.org

2006年に経済産業省より、「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」として、社会人基礎力が提唱されました。本ワークショップでは、多彩なゲストをお招きし、前半は社会人基礎力から更に発展させたグローバル社会を生き抜くための「新・社会人応用力」について自由な意見を交わし、理論だけではなく職場で求められる能力の具体例をあげながら、さまざまな切り口でパネルディスカッションを行っていきます。後半は前半の内容をヒントとして参加学生・企業が本音で語り合える交流の場をご提供します。

ゲスト:マスコミアナリスト 土田 孝氏

中央大学法学部卒業後、ビクター系レコード会社(ABBA、八神純子など担当)、編集プロダクション社長、マスコミアナリストとして、フジテレビ朝の情報番組、テレビ朝日の深夜番組にてレギュラーコメンテーターとして活躍。現在はマスコミ・エンターテインメント業界を目指す学生を対象とした就活アドバイス、専門学校での講義、テレビのエキストラキャスティング(TBS金スマなど)、自身がパーソナリ

ティを務めるレインボータウンFM「Richyman エンタメ倶楽部」も好評放送中。

ゲスト:八王子市議会議員 及川 賢一 氏

東京大学大学院社会情報研究所教育部、都立大学大学院社会科学研究所を修了(経営 学修士)、ソニー(株)入社後、(株)メディオクリタスにて経営コンサルタントとして活躍したのち、2011年4月、八王子市議会議員選挙に無所属で初当選を果たす。「地方政治に政党は必要ない。真剣に街のことを考えて街のことだけに集中できる議員こそが地方議員の使命である」と熱い理念を掲げ、生まれ育った八王子の元気を取り戻すために立ち上がった今注目の若手議員。

ゲスト:人材開発トップトレーナー 植松 園和 氏

ジャパンラーニング 人材開発本部 部長 株式会社リクルートフロムエー(現:リクルート HR マーケティング)にて、トップ営業マンに授与される MVP を多数受賞し、営業組織のマネジメントにおいても記録的な実績を残す。現在は企業にて階層別研修・モチベーションをテーマとした研修を中心に、受講者より「また指導されたい講師」として多くの信頼を獲得している。

ファシリテーター:産業カウンセラー 藤原さゆり 氏

日本空港ビルディング株式会社を経て、株式会社リクルート フロム・エー(現:株式会社リクルートHRマーケティング)に入社。その後、営業支援・人材採用コンサルティング会社にて、2009年4月にアンズ・ヒューマン・ロジャース株式会社を設立。現在は中小企業での「採用・教育・メンタルヘルス」の HR サポート、大学にてキャリア アカウンセリング・社会人基礎力強化の企画・セミナーを展開中。

2012年度 関東支部秋期大会

テーマ: ビジネス情報とセキュリティ

11月24日 拓大で開催

近年、外国からのサイバー攻撃が頻繁に発生して、日本の企業や官庁が何者かから攻撃を受け、国家的機密情報や企業の知的財産が盗まれる事件が多発しています。また、海外進出企業は、現地採用社員や合弁企業から自社開発のノウハウや技術情報が流失したり、商品の模倣被害などが増加しています。

このように情報機器の不正使用、人材の移動、産業スパイなどさまざまな方法で機密情報が流失しており、これを防ぐことは国家や企業には喫緊の課題となっています。

そこで、今年度の関東支部大会では、情報の専門家をお招きし情報管理や流失防止など情報防衛などのあり方を討論致します。

日時: 11月24日(土) 15:30~18:30 受付: 15:00~

場所: 拓殖大学文京キャンパス C館401 地下鉄丸の内線茗荷谷駅下車

参加費: 会員一人千円、非会員一人2千円、学生・院生無料

申し込み：学会事務局 info@abc.org までメールにて申し込みください。

開会式：15：30～35 挨拶

講演：15：40～16：20

外国のサイバー攻撃から日本の知的財産を守る方法

— 北朝鮮サイバー攻撃の実力と現状 —

高ヨン Chol（拓殖大学アジア情報センター客員研究員・元韓国国防省分析官）

講演：16：20～17：00

知的財産と情報セキュリティ

橋本虎之助（橋本総合特許事務所・経営戦略センター所長、弁理士）

パネル討論 17：10～18：10

司会：仮野忠男（政治ジャーナリスト・元毎日新聞論説委員）

パネリスト

原田 泉（日本危機管理学会理事長、国際社会経済研究所）

齊藤好正（日本ビジネスインテリジェンス協会理事）

高ヨン Chol（拓殖大学アジア情報センター客員研究員・元韓国国防省分析官）

橋本虎之助（橋本総合特許事務所・経営戦略センター所長、弁理士）

パネルの総括：18：15～20 コメンテーター

中川十郎（日本ビジネスインテリジェンス協会会長、東京経済大学大学院前教授）

閉会式：閉会挨拶と学生発表会の表彰 18：20～18：30

報 告

9月26日開催 第2回ウェブコミュニケーション部会

テーマ：日本企業の中国における

ウェブビジネスの展開と課題

日 時：平成24年9月26日（水）18：30～20：00

場 所：拓殖大学文京キャンパスC館407教室

司会進行：鍛冶 直也 ウェブコミュニケーション部会部会長
インターネット・ビジネス・ジャパン株式会社

報告 18：35～19：45

中国最大の实名制 SNS 「人人網」との日本初 公式代理店契約の締結と
中国ソーシャルメディアの勢力図について



中国本土ではウェブ、とりわけソーシャルメディアの利用が急速に浸透しており、日本企業による対中プロモーションにおいては、中国ソーシャルメディアの活用が極めて重要になっています。このような折、本年6月より中国最大の实名制 SNS「人人網」の日本初となる公式代理店契約を締結し、日本企業に対して「人人網」を活用したプロモーション施策のコンサルティング業務を展開中のウェブスタッフ株式会社事業責任者の立石 晋也氏より中国のウェブビジネスについて報告していただきました。

報告では、中国における最新のソーシャルメディアの勢力図について説明がありました。特に、中国のソーシャルメディアを【ミニブログ】と【SNS】の大きく二つに分け、日本企業による対中プロモーション成功の鍵を握るであろう4つの有力メディアについて利用数や利用率など、データと分析を交えた専門的な観点からの大変貴重な報告がありました。

報告によると、中国インターネットユーザーにおける利用率および利用人数はミニブログでは、第1位は Sina Weibo (新浪微博) で、利用率 61% で、2億6千4百万人が使用しており、第2位の Tencent Weibo (騰訊微博) は利用率 56% で2億3千9百万人が使用しております。一方、【SNS】部門では、第1位は Qzone (QQ 空間) で、利用率 66%、2億8千6百万の利用者がおり、第2位の RenRen (人人網) は 37%の利用率で、1億6千万人が使用しています。

立石氏の企業は、この「人人網」と公式代理店契約を結び、日本企業に対してコンサルティング業務を展開中とのことでした。

中国ではソーシャルメディアの利用が急速に拡大し、その実態は日本ではほとんど知られていなかったもので、今回の報告は大変貴重なものになりました。中国には13億の人口があり、億単位の利用者は日本の総人口を超える規模になり、その潜在的な可能性は想像以上のものであることが分かりました。これからの中国は、ソーシャルメディアが大きな影響を与え、国家の方向性にも国民の意思が反映されるのではないかと強く感じました。

質疑応答 19:45～20:00

立石 晋也 ウェブスタッフ株式会社 SS局 主任
魯 沛明 ウェブスタッフ株式会社 SS局



立石氏の報告の後、中国・北京にある「人人網」運営企業本社での常駐経験を持つ魯氏を交えて、日本企業の中国におけるウェブビジネスの展開や課題について会場の参加者と活発な質疑応答をしました。会場にはウェブに詳しい人も参加していましたが、今回の中国の最新情報を真剣に聞いておりました。

ウェブコミュニケーション部会は活発に活動しており、今回で今年2回目の開催となりますが、第3回目は来年早々に「インドにおけるウェブ事業の展開」の報告を予定しています。振るってご参加下さい。 報告者：北出 亮

報 告

尖閣と竹島問題を考える

下条正男 拓殖大学国際学部教授

平成24年10月26日（金）18:30～20:00

尖閣諸島の魚釣島



竹島



現在、尖閣列島は日本が実効支配し、竹島は韓国が占拠しています。尖閣列島と竹島は何れも日本の領土として様々な歴史書や昔の地図に書かれていますが、韓国は1950年代から韓国領とし、中国は1970年代からその領有権を主張しています。これが近時その活動は厳しさを増しております。

他方、日本は中国とは経済の面で大きな依存関係にあり、韓国とは米国を入れた軍事的な協力関係にあります。更にロシアとは北方領土返還問題が未解決のままとなっています。

領土問題を専門に研究されている拓殖大学の下条教授は「尖閣列島や竹島は古来より我が国の領土であり、中国や韓国の主張は問題がある」と多くのメディアや政党の研究会で発表されています。

今回の特別講演で下条教授は、日本政府の対応や発言は、両島における古来からの歴史的見地からなされておらず、これが中国や韓国の領有権主張に対して十分に機能していない原因の一つであると説明されました。

周知のとおり領土問題は政治と外交がからむ極めて難しい問題で、すぐに解決する問題ではありませんが、尖閣問題で中国が商取引や交流をしている日本企業や日本人達に様々な不利益を伴う対応をしていることから、学会では今後も重要な研究課題として取り組む予定です。

報告者：北出 亮

第3回学生研究発表会 プログラム

2012年11月10日(土) 14:00 ~ 17:00

拓大 文京キャンパス 後援: 日本ビジネスコミュニケーション学会(ABCJ)
協力: 拓殖大学連合ゼミナール

日 時	内 容	場 所
13:45～	受 付	C 館 303
14:00～14:10	開 会 式	C 館 303
(英語発表)		C 館 303
14:15～14:30	発表 1	C 館 303
14:35～14:50	発表 2	C 館 303
14:55～15:10	発表 3	C 館 303
15:15～15:30	発表 4	C 館 303
(日本語発表)		
14:15～14:25	発表 1	C 館 304,305
14:27～14:37	発表 2	C 館 304,305
14:39～14:49	発表 3	C 館 304,305
14:51～15:01	発表 4	C 館 304,305
	休憩	
15:11～15:21	発表 5	C 館 304,305
15:23～15:33	発表 6	C 館 304,305
15:35～15:45	発表 7	C 館 304,305
15:47～15:57	発表 8	C 館 304,305
15:59～16:09	発表 9	C 館 304,305
16:40～16:55	講評および結果発表	C 館 303
16:55～17:00	閉 会 式	C 館 303

英語発表グループ C 館 303 教室

- 1) Panasonic から見る海外の新卒採用 (北出ゼミ 3 年) 鈴木啓斗・藤田良太・松原圭佑
- 2) 日本に進出してきた韓国企業 (北出ゼミ 3 年) 潟田樹・関根大暁・五十嵐翔平
- 3) Using Emotional Approach in TV Commercials -A Case Study on Toyota-
(長尾ゼミ 3 年) アルオセフ アハマド・久光 貴大・長谷川 朋加・空閑 早香
- 4) Convenience Store Business in Asian Market
(北出ゼミ 3 年) Yatsuda, Naoyuki・Kobayashi, Yuuta・Tsuge, Naoki

日本語発表グループ 1 C 館 304 教室

- 1) 大震災の被害を受けた水産企業—実際に話を聞いて— (北出ゼミ 3 年) 北島裕己・岡英伸・小野優
- 2) 昭和ブームについて—昭和ブームについてクレヨンしんちゃん嵐を呼ぶモーレツオトナ帝国の逆襲から考える— (鄭ゼミ 3 年) 岡村篤志
- 3) オーストラリアから学ぶ多民族国家の教育と差別問題 (北出ゼミ 3 年) 宮内義明・古川拓実
- 4) 社内公用語の英語化による影響 (北出ゼミ 3 年) 平井徹・岩崎菜子・佐藤有希子
- 5) 子どもの競争について (鄭ゼミ 3 年) 中島直貴
- 6) 今、復興には何が必要なのか—阪神・淡路大震災との比較— (北出ゼミ 3 年) 川上雄大・梅田美咲
- 7) 仮設住宅での近隣住民とのコミュニケーションとは? (北出ゼミ 3 年) 阿部拓也・鶴田楓・小倉菜々美
- 8) 女性化する若者たち (鄭ゼミ 3 年) 濱瀬公一・菊田貴彦
- 9) 南相馬と子供たち—チルドレンファースト— (北出ゼミ 3 年) 加倉井雄樹・佐藤純司・佐藤洋斗

日本語発表グループ 2 C 館 305 教室

- 1) あなたは『キラキラネーム』をつけますか?—子供の名付けの変化から読み取る価値観の変化—
(鄭ゼミ 3 年) 下山正勝・宮本雅己
- 2) あなたの結婚観が知りたい—「結婚式離れ」から紐解く意識変化と現代社会の結びつき—

- (鄭ゼミ3年) 岡嶋裕奈・新原由香梨
- 3) 「無料配布」から分かる企業の狙いと消費者行動 (長尾ゼミ3年) 廣町幸紀・太田一孝・山中明香里
- 4) 美人が愛される時代—創られた価値観と女性に映る光と影—
(鄭ゼミ3年) 木村貴大・池田健仁・加藤隆行
- 5) テレビ離れと家族コミュニケーション (鄭ゼミ3年) 谷翔太・遠藤寛也
- 6) SNSにおける匿名性と自己開示の関係性についての考察
(長尾ゼミ3年) 佐々木 政徳・渡辺 康史・井上 香菜子
- 7) あなたは「割り勘」しますか?—現代社会における若者の金銭感覚の変化と男女間コミュニケーション—
(鄭ゼミ3年) 堀越かの子・井上沙羽子
- 8) 走り出した地域再構築—横浜 DeNA ベイスターズから見る今後の社会 (鄭ゼミ3年) 土田耕平
- 9) 「男の娘」からみる、男らしさ・女らしさ—ジェンダーについて考える—
(長尾ゼミ3年) 渡邊力輝・近藤俊章・齊藤菜月

昨年度活動実績と今年度の活動予定

昨年度の活動

- 4月 日中ビジネスフォーラム
(震災のため中止)
- 6月 日台シンポジウム
- 9月 第1回地域社会専門部会
- 10月 2011年度年次大会
- 11月 学生発表会予選
- 12月 関東支部会兼学生発表会決勝
- 2月 第1回ウェブコミュニケーション部会
- 3月 災害ボランティアシンポジウム

今年度の活動と予定

- 6月9日 関西支部例会
- 6月20日 関東支部春期大会
- 9月26日 第2回ウェブC部会
- 10月26日 特別講演会「尖閣と竹島問題」
- 11月10日 学生発表会予選
- 11月11日 2012年度年次大会(同志社大学)
- 11月21日 ワークショップ「社会人応用力」
- 11月24日 関東支部大会兼学生発表会決勝
- 2月中旬 講演会・専門部会
- 3月中旬 講演会・専門部会

会期年度は4月1日～翌年3月31日までです。

平成24年度会費納入のお願い

平成24年度より、各支部独立採算制度となり、会費(¥7,000)の納入は下の支部会計口座へ振込をお願いします。今年度(平成24年4月1日～平成25年3月31日)の年会費未納の方は 下記の口座に¥7,000お振り込みをお願いします。

関東支部

銀行：りそな銀行茗荷谷支店
店番：461 普通預金口座：1468474
名：日本ビジネスコミュニケーション学会

関西支部

銀行：三井住友銀行 金剛支店
店番号194 普通口座3889419
口座名：日本ビジネスコミュニケーション学会
関西支部長中林眞佐男